

1) システムの名称：

地域医療連携支援システム PrimeArch (プライムアーチ)

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

1 6. 地域医療情報システム他

3) 特色：

PrimeArch は、多施設の SS-MIX ストレージをインターネット回線で連携することにより包括型地域医療を実現する、地域医療連携支援システムです。ご導入形態は、弊社クラウドサービスまたはオンプレミス（導入型）に対応します。

■SS-MIX 標準化ストレージ、拡張ストレージをベースにデータ連携します。(SS-MIX2 対応済み)

- ・標準化ストレージに格納された患者情報、処方、検体検査結果の参照
- ・レポート等の拡張ファイル形式（JPEG、PDF、Excel、Word 等）の保存・参照が可能
- ・オフラインによるアップロード機能を実装

■診療情報提供書（紹介状）、診療レポート等の作成を支援します。

- ・診療情報提供書のほか、各種レポートの作成に対応
- ・オフライン施設向けとした、HL7 CDA R2 に準拠した診療情報提供書 CD 出力に標準対応
- ・他施設からの CD 取り込みに対応（一般的なファイルにも対応）
- ・将来の電子処方箋（法令化は未定）にも対応予定

■多施設間のデータを収集し、対象患者の情報を表示します。

- ・データの保存場所は、「集中型」と「分散型」に対応、及びこれらの混在型に対応
- ・各施設の検査画像（DICOM）を参照
- ・時系列・登録データ種別マトリックスからワンクリック操作
- ・患者 ID の名寄せ検索（PIX/PDQ）

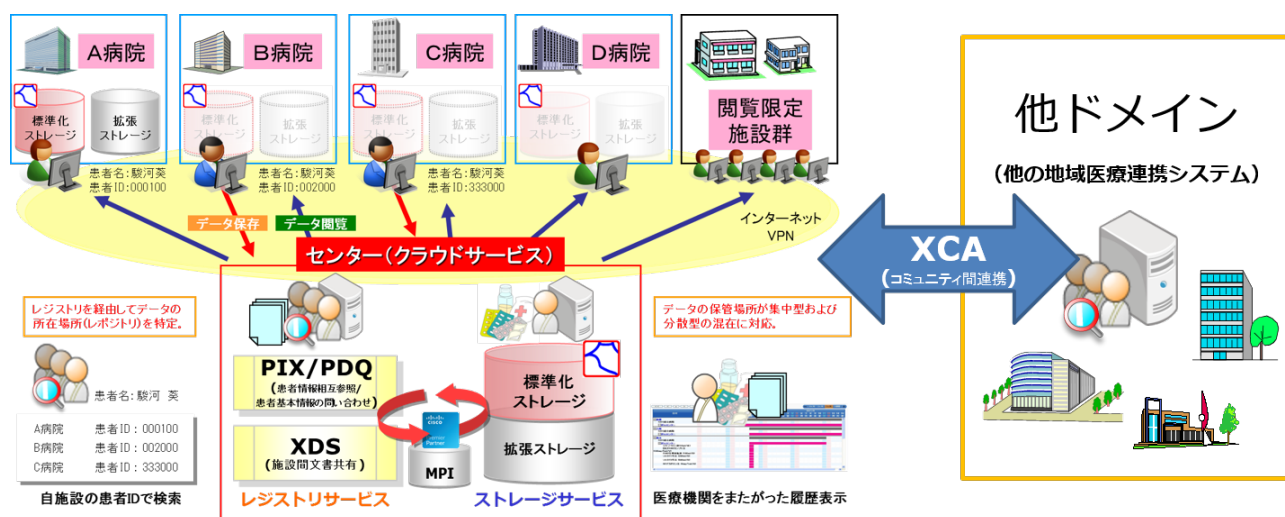
■HPKI、患者認証用カードに対応することで、セキュリティ、プライバシーの保護を強化します。

■既設のインターネット回線も利用できることで、ネットワークコストを削減します。

■開示施設毎に Cisco Webex Meetings 年間ライセンスが付属でき、別途ビデオ会議のご利用も可能になります。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

PrimeArch(地域医療連携支援システム) 概要図



PrimeArch は、地域医療連携システムの構築の標準として、IHE の関連統合プロファイル「IHE IT インフラストラクチャ」に対応し、他の地域における別の地域医療連携システム間と標準化によるデータ連携を実現できます。

※弊社クラウドサービスによる構築も可能です（データ開示病院には連携用サーバの導入が必要）。

■Cisco Webex Teams と連携し PrimeArch ユーザ間のコミュニケーション（連携）ツールとしてご使用できます。

画面例：



５）標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- データ交換規約：HL7 (Ver2.5)／患者情報 (ADT)、入退院情報 (ADT)、処方・注射情報 (OPM)、検査情報 (OML) に標準対応
- HS007 患者診療情報提供書及び電子診療データ提供書（患者への情報提供）準拠
- HS008 診療情報提供書（電子紹介状）準拠
- HS011 医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）
- HS025 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様
- HS026 SS-MIX2 ストレージ仕様書および構築ガイドライン
- 厚生労働省電子の診療情報交換推進事業規格適合済み
- IHE IT インフラストラクチャ PIX V3, PDQ V3, XDS.b, XCA (IHE-J2016 コネクタソン合格)
- SS-MIX ストレージ利用範囲：データ連携（参照含む）

６）動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

- 【サーバ構成】
  - オペレーティングシステム：Windows Server 2012 (R) 日本語版
  - 追加コンポーネント：.NET Framework 2.0
  - CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上 (Xeon プロセッサ以上を推奨)
  - メインメモリ：4GB 以上
- 【クライアント構成】
  - オペレーティングシステム：Windows (R) 7 日本語版以降（2016 年 4 月現在）
  - Internet Explorer 8 以上

７）稼働までに必要な作業・期間：

- 既存 HIS における、標準化ストレージ・拡張ストレージ連携ご対応
- 既存 PACS における、DICOM Q/R 連携お打合せ・ご対応
- インターネット回線開通、等
- 稼働までに通常 3～6 ヶ月程度必要となります。

８）価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

- 7 桁（他システム連動・機器費は除く） ※参加施設数により変動

９）保守の内容と費用：

- 初期講習：オペレーション説明、マニュアル配布
  - 初期導入保守：運用開始時立会い
  - 利用保守料（回線使用料は別途）：月額 ～98,000 円／施設、閲覧限定ライセンスは無償（オンプレミスご導入時）
  - ※MPI (Master Patient Index) 患者識別マスタ登録数により変動
  - ※遠隔保守（必須）
  - ※別途ハード保守あり
- （※税別）

１０）問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

- 問合せ先：株式会社 SBS 情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>
- 〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂 3-1-1
- TEL：054-283-1450 FAX：054-284-9182
- 医療事業本部 営業部
- Mail：iryo@sbs-infosys.co.jp